

18279144

DELPHION**Select C****RESEARCH****Log Out****Work Files****Saved Searches**

My Account

Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwent

The Delphion Integrated View

Get Now: ☒ PDF | File History | Other choices**Tools:** Add to Work File: Create new Work File**View:** INPADOC | Jump to: Top☐ Email t**Title: JP06333054A2: SYSTEM FOR DETECTING TARGET PATT
INSIDE VIDEO IMAGE****Country: JP Japan**
Kind: A (See also: JP03549569B2)**Inventor: CHINCHUAN CHIU;**
OKI TORU;
PHILIP PAOLERA;**Assignee: SONY ELECTRON INC**
News, Profiles, Stocks and More about this company**Published / 1994-12-02 / 1994-04-21****Filed:****Application JP1994000083101****Number:****IPC Code:** Advanced: **G06F 15/18; G06G 7/60; G06K 9/32; G06K 9/64;**
G06N 3/063; G06T 7/00;
Core: **G06G 7/00; G06N 3/00;** more...
IPC-7: **G06F 15/18; G06F 15/70; G06G 7/60;****Priority 1993-04-27 US1993000053987.****Number:****Abstract:**

PURPOSE: To quickly and accurately find a desired pattern by using the speed of a neural network technique in addition to the accuracy of a mathematical correlation technique and gray scale throughput.

CONSTITUTION: Video images from a camera 200 are stored by a memory 204 and divided into plural small divided video images by a video divider 208. In a first path, a neural network 210 selects the one possibly provided with a pattern or a part of it from the divided video images and gives the rough position of the patterns. A center calculator 212 obtains the position of an almost center after the respective divided video images provided with the patterns selected as candidate patterns by the neural network and feeds it back to the video divider 208. In a second path, the center calculator 212 decides the center of an output divided video image.

A correlator 216 processes the set of the divided video images for which the center is corrected, acts on the data of a gray level from the memory 204 and performs generation by an output pattern recognized as being matched.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO

INPADOC None **Get Now:** [Family Legal Status Report](#)
Legal Status:
Family: [Show 4 known family members](#)
Other None

Abstract Info:



[Gallery...](#)

[Nominate this for the](#)



Copyright © 1997-2008 The Thomas

[Subscriptions](#) | [Web Seminars](#) | [Privacy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Con](#)

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-33054

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)2月12日

H 04 M 15/00

Z-7406-5K

F-7406-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 磁気カード電話方式

⑯ 特 願 昭61-176526

⑰ 出 願 昭61(1986)7月25日

⑱ 発 明 者 河 野 吉 孝 京都府京都市南区上鳥羽南塔ノ本町12番地 株式会社南部電機製作所内

⑲ 出 願 人 株式会社 南部電機製作所 京都府京都市南区上鳥羽南塔ノ本町12番地

明細書

1. 発明の名称

磁気カード電話方式

2. 特許請求の範囲

(1) 加入ダイヤルの電話番号及び暗証番号を記録した磁気カードと、該磁気カードを挿入したとき、加入ダイヤルの電話番号及び暗証番号を読み取り、電話機のダイヤルから入力された暗証番号と前記暗証番号が一致したとき、通話回線がつながり、通話終了後、通話料金を加入ダイヤルに加算することを特徴とする磁気カード電話方式。

(2) 前記磁気カードに記録された暗証番号が通話禁止ナンバーであるとき、前記磁気カードを使用不可にすべく、パンチすることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の磁気カード電話方式。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、加入ダイヤルの電話番号及び暗証番号を記録した磁気カードを用いて電話をする磁気カード電話方式に関するものである。

(従来の技術)

従来の磁気カードを用いた磁気カード式公衆電話機では、磁気カードに通話を許容する度数データがある限りダイヤル発信ができ、そして通話に伴って度数が減り、残り度数がなくなると同時に使用不可になっていた。

(発明が解決しようとする問題点)

硬貨の投入による通話から、度数を記録したテレホンカードによる通話によって、通話中、硬貨の追加をする必要がなくなったが、残り度数の少ないテレホンカードを使用する場合、度数が不足する可能性があり、複数のテレホンカードを持たなければならなかった。また手持ちのテレホンカードがないときはコレクトコールで通話することもできるが、これは着信側への通話料加算の場合であり、また呼び出しの度毎に着信側の了解を要した。特に遠出の外出先から自宅へ電話するときには不合理さがあった。

(問題点を解決するための手段)

そこで上記問題点に鑑み、本発明は加入ダイヤ

ルの電話番号及び暗証番号を記録した磁気カードを用いて、該磁気カードが公衆電話機に挿入されると、加入ダイヤルの電話番号及び暗証番号を読み取り、記憶する記憶部を設け、該記憶部に記憶された前記磁気カードから読み取った暗証番号と公衆電話機のダイヤルから入力された暗証番号とを比較する比較回路を設け、該比較回路での比較の結果同一番号であれば、通話回線がつながり、通話終了後通話料金を加入ダイヤルに加算する通話料加算回路を設け、前記磁気カードと、前記記憶部、比較回路、通話料加算回路によって構成された公衆電話機とからなることを特徴とする磁気カード電話方式を提供するものである。また前記暗証番号が通話禁止ナンバーであるとき、前記磁気カードを使用不可にすべくパンチすることをも特徴としている。

(実施例)

本発明の実施例を図面に基づいて説明する。第1図は本実施例における公衆電話機のブロック図、第2図は磁気カードの平面図、第3図は公衆電話

機の入力部、第1の暗証番号と第2の暗証番号を比較する。暗証番号が一致すれば通話料加算回路8を介して、記憶部4に記憶されている加入ダイヤルの電話番号に基づいて、電話局の該電話番号に該当する加入ダイヤルと公衆電話機の制御部6が連結される。前記加入ダイヤルに登録されている第3の暗証番号が通話料加算回路8を介して、制御部6の制御により、比較回路7に入力され、該第3の暗証番号が通話禁止ナンバーであり、比較回路7の第1の暗証番号と一致したとき、制御部6からカードパンチ部9に対して磁気カード1のパンチ指令を出力する。また比較した結果、第1の暗証番号が通話禁止ナンバーでなければ制御部6の制御により通話回路10が発信可能状態となり、押しボタンダイヤル5から通話先電話番号が入力されることによって通話可能となる。通話終了後、制御部6からの指令により通話料加算回路8を介して、電話局の加入ダイヤルに通話料の加算がされる。

第3図のフローチャートに基づいて、本実施例

機の制御状態を示すフローチャートである。

第2図において磁気カード1は絶縁材からなり、該磁気カード1の面上は加入ダイヤルの電話番号を記録した電話番号エリア1aと、暗証番号を記録した暗証番号エリア1bの磁性帯で形成されている。第1図は公衆電話機のブロック図を図示したものであり、公衆電話機のカード投入口に挿入された前記磁気カード1から加入ダイヤルの電話番号及び第1の暗証番号を読み取る、電話番号読み取り部2と第1の暗証番号読み取り部3があり、前記電話番号読み取り部2の読み取りヘッド2aから読み取られた電話番号及び前記第1の暗証番号読み取り部3の読み取りヘッド3aから読み取られた第1の暗証番号は一旦、記憶部4へ記憶される。そして前記磁気カード1を挿入後、公衆電話機の押しボタンダイヤル5を操作し、第2の暗証番号を入力すると、制御部6の制御により、前記押しボタンダイヤル5から入力された第2の暗証番号は比較回路7に入力され、同時に記憶部4に記憶された第1の暗証番号を比較回路7に呼び

の公衆電話機の動作を説明する。まず公衆電話機に磁気カード1を挿入すると(ステップ1)、使用不可カードであるかどうかを判断する(ステップ2)。使用不可カードとは通話禁止にすべくパンチされた磁気カードであり、パンチされているかどうかを判断している。使用不可カードであれば、ステップ14へジャンプし、挿入された磁気カード1を押し出す。使用不可カードでなければ、磁気カード1に記録された加入ダイヤルの電話番号及び第1の暗証番号を読み取り(ステップ3)、一旦記憶部4に記憶する。次に押しボタンダイヤル5から第2の暗証番号が入力されると(ステップ4)、この入力された第2の暗証番号と磁気カード1から読み取った第1の暗証番号が一致するかどうかを判断する(ステップ5)。そして一致しなければ、ステップ14へジャンプし、挿入された磁気カード1を押し出す。暗証番号が一致しておれば、磁気カード1に記録された電話番号に該当する電話局内の加入ダイヤルと通話料加算回路8をつなぐ(ステップ6)。そうすると電話局内の加

入ダイヤルに登録された第3の暗証番号が公衆電話機の比較回路7に入力される(ステップ7)。この第3の暗証番号が通話禁止ナンバーであり、磁気カードに記録されている第1の暗証番号と一致すれば(ステップ8)、公衆電話機内のカードパンチ部9を作動し、該磁気カード1を使用不可にすべくパンチする(ステップ9)。そしてパンチされた磁気カード1は、ステップ14で磁気カード投入口から押し出される。通話禁止ナンバーでなければ、通話回路10が電話局とつながり、通話先電話番号を押しボタンダイヤル5から入力することによって(ステップ10)、通話可能状態となる(ステップ11)。そして通話が終了すれば(ステップ12)、公衆電話機の通話料加算回路8を介して電話局の加入ダイヤルに通話料が加算される(ステップ13)。その後磁気カード1が押し出され(ステップ14)、次の磁気カードを待つ。

(発明の効果)

本発明のごとく、加入ダイヤルとしての電話番号及び暗証番号を記録した磁気カードを用いる公

衆電話機で電話することによって、通話終了後、通話料を電話局の加入ダイヤルに自動的に加算することによって、手持ちの電話機から電話するように、公衆電話機から電話するときも、硬貨及びテレホンカードを不要にできる。また磁気カードの盗難、紛失及び加入ダイヤルの変更に対しては、この磁気カードによる通話を不可能にするために、使用不可カードかどうかのチェック及び暗証番号のチェックを行っている。即ち、電話局の加入ダイヤルに登録された通話禁止ナンバーとなった暗証番号が、磁気カードに記録された第1の暗証番号と一致したとき、該磁気カードをパンチすることによって確実に使用不可にすることができる。このように磁気カードの悪用を防ぎ、また公衆電話機からどこに対して電話をかけようとも、電話中に通話料を払う必要もなく、1枚の磁気カードで、どこからでも、どこに対しても電話することができるようになる。これはまたテレホンカードの乱発、及び使い捨てをおさえることができる。

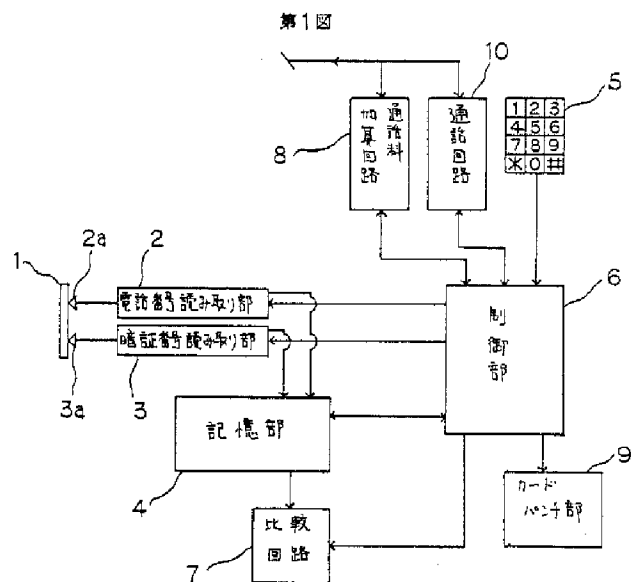
4. 図面の簡単な説明

第1図は公衆電話機のブロック図。第2図は磁気カードの平面図。第3図は公衆電話機の制御状態を示すフローチャート。

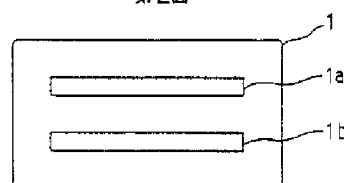
- 1…磁気カード 1a…電話番号エリア
1b…暗証番号エリア 2…電話番号読み取り部
2a…読み取りヘッド 3…暗証番号読み取り部
3a…読み取りヘッド 4…記憶部
5…押しボタンダイヤル 6…制御部
7…比較回路 8…通話料加算回路
9…カードパンチ部 10…通話回路

特許出願人

株式会社南都電機製作所



第2図



第3図

